

2025 年度一般選抜（コア試験・プラス試験）

出題ポイント

公共＋政治・経済

法学部コア試験・国際社会科学部プラス試験

解答

- I. 問1 c
問2 d
問3 b
問4 c
問5 A 法曹 B 司法
問6 d
問7 貸金
問8 b
問9 b
問10 b
問11 交渉
- II. 問1 A カント B ケロッグ C 正答なし
D 新ガイドライン E 国民保護法
*Cの解答は、問題に過誤があったため受験者全員に得点を与えた。
問2 ア c イ j ウ a エ f
問3 d
問4 b, d, f
問5 b
- III. 問1 A ユーロ B 変動為替相場
問2 c
問3 C 支出 D 国民 E 雇用者報酬
問4 (1) a, d (2) b
問5 c
- IV. 問1 A 創造的破壊 B 4
問2 (1) C 資本 D コンドラシェフ E クズネッツ
(2) ア e イ d
問3 F 夜警 G 搾取
問4 a, b, e
問5 a
問6 b

経済学部コア試験・法学部プラス試験

解答

- I. 問1 A フレックスタイム B 裁量労働 C 雇用
D 機会 E 技能実習
問2 ア b イ g ウ h
問3 c
問4 待機児童
問5 b
- II. 問1 A サンフランシスコ B 拒否権 C 結集 D PKF
問2 d
問3 c
問4 b
問5 多国籍
- III. 問1 c
問2 a, d
問3 A 硬貨 B クラウド
問4 イ b ウ f
問5 a
問6 (1) e
(2) C 預金保険料 D ベイオフ E 2005
- IV. 問1 ア b イ d ウ f
問2 A 中小企業基本 B ベンチャー
問3 C 請 D 系列 E 調整(調節) F 地場
問4 c
問5 d

文学部コア試験

解答

- I. 問1 a
問2 b
問3 c
問4 E 影響 F 評価
問5 宴のあと
問6 d
問7 B 石に泳ぐ魚 C 表現 D 人格
- II. 問1 A 普通 B 小選挙区
問2 f
問3 c
問4 0.6
問5 D 利益 E 経営
問6 *問題に過誤があったため受験者全員に得点を与えた
- III. 問1 b
問2 c
問3 イ d ウ f
問4 ミレニアム
問5 d
問6 開発協力大綱
問7 エ f オ c
- IV. 問1 A 3 B 知識 C 内
問2 b
問3 c
問4 d
問5 (1) D 貸借対照 E 他人(外部) F 20
(2) ス a セ b
問6 c, f

国際社会科学部コア試験・経済学部プラス試験

解答

- I. 問1 A 合計特殊出生率 B 労働力
問2 a
問3 b
問4 生産年齢
問5 e
問6 c
問7 a
- II. 問1 A 均衡 B 全国人民代表大会 C 緊急事態
問2 b
問3 D 派閥 E マニフェスト
問4 d
問5 c
- III. 問1 ア c イ e
問2 A ビスマルク B ゆりかご
問3 d
問4 ウ c エ b
問5 b
問6 C 年金 D 公衆衛生
- IV. 問1 a, e
問2 ア c イ d ウ j エ f オ g カ i
問3 A 無償(公的、政府、対外、海外、国際、開発、経済)
B インバウンド C プラットフォーマー
D アウトソーシング E ヘイブun (ヘイヴン)
問4 a, c, d, e
問5 a

問題の構成

本学の「政治・経済」の問題は、法学部コア試験（国際社会科学部プラス試験）、経済学部コア試験（法学部プラス試験）、文学部コア試験、国際社会科学部コア試験（経済学部プラス試験）のいずれも大問4問であり、マークシート式と記述式の併用で出題されています。

令和7年度（2025年度）試験での配点については、法学部コア試験（国際社会科学部プラス試験）、文学部コア試験、国際社会科学部コア試験（経済学部プラス試験）は大問各25点の100点満点、経済学部コア試験（法学部プラス試験）は大問各30点の120点満点です。

また、試験時間については、法学部コア試験（国際社会科学部プラス試験）、経済学部コア試験（法学部プラス試験）、国際社会科学部コア試験（経済学部プラス試験）は60分、文学部コア試験は90分です。

出題分野の構成としては、法律・政治分野、経済・経営分野、国際関係分野のそれぞれから出題されています。

問題の特徴

問題は、「次の文章を読んで設問に答えなさい」という形式のものが大半ですが、図表や統計資料を読み解くことを求める形式のものもあります。

マークシート式も、単に知識を問うだけでなく、適切な推論能力の有無を評価する問題も多く出題されています。計算を要求する問題が出題されることもあります。また、正しい（あるいは誤った）文章や語句を選択させる問題については、正答が1つの場合だけでなく、複数の正答を選択するように指定する場合や、正答数を明示せずに過不足なく正答を選択することを求める場合もあります。このため、曖昧な知識だけでは対応できず、すべての選択肢について正誤を正確に判断する能力が問われます。

解答の際の留意点

記述式では、人名、国名、機関名、法律の名称、出来事の名称や概念の名称などを問う問題が出題されます。計算を要求する問題が出題されることもあります。誤字や脱字、当て字などが減点対象となることはいうまでもありません。また、問題文の指示を無視した解答（たとえば、字数指定や、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベット略称などの指定を無視した解答）は、不正解となります。問題文を注意深く読み、字を丁寧に書くように心がけてください。

学習へのアドバイス

出題範囲は、高校で使用される教科書の内容が中心となります。ただし、教科書の本文だけでなく、欄外の注や図表などから出題されることもあります。

また、資料集を基にした問題や、社会情勢に関する時事問題など、教科書以外から出題されることもあります。法律・政治・経済・経営・国際関係などに関する事象や概念をどれだけ深く理解し、最新の動向にも日頃から関心をもって学びを進めているかを知るためです。時事用語については、その意味や内容を正確に理解しておくことが望まれます。

基本的な事項については反復して学習し、知識を確実にするとともに、社会が抱える諸問題について、日常的にアンテナを張り、用語の丸暗記ではなく、法律・政治・経済・経営・国際関係などについて、それらの全体像を総合的に理解するように心がけてください。